

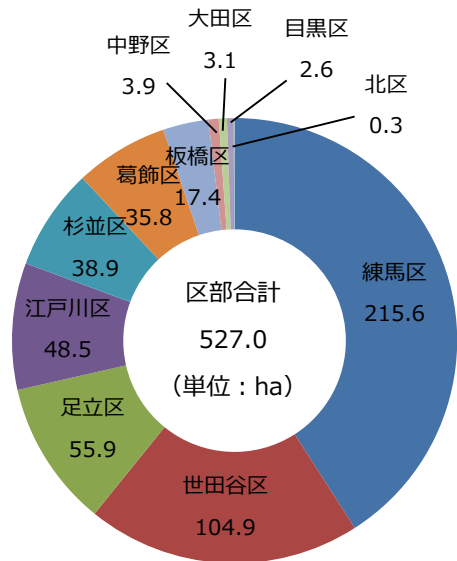
東京および練馬の都市農業の現状

特徴1. 東京区部農地の4割を占める練馬区では生産緑地の割合が高い

東京区部の農地面積のうち約4割を練馬区が占める。

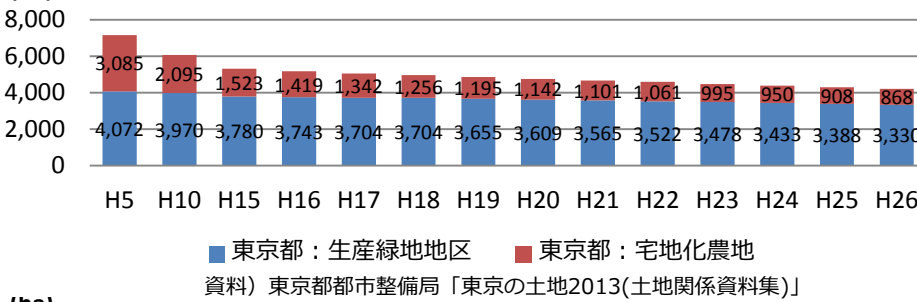
練馬区では農地に占める生産緑地の割合が約8割と高く、生産緑地制度により農地が維持されてきたと言える。

<東京都区部の農地面積に占める各区の割合>

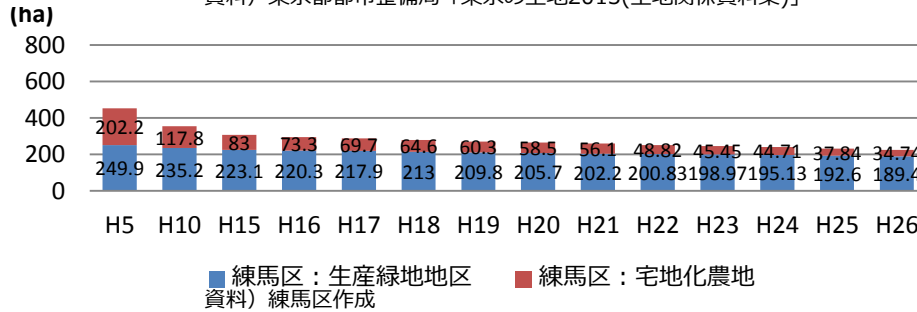


資料) 練馬区「ねりまの農業」

<東京都・練馬区の農地面積の推移>



資料) 東京都都市整備局「東京の土地2013(土地関係資料集)」

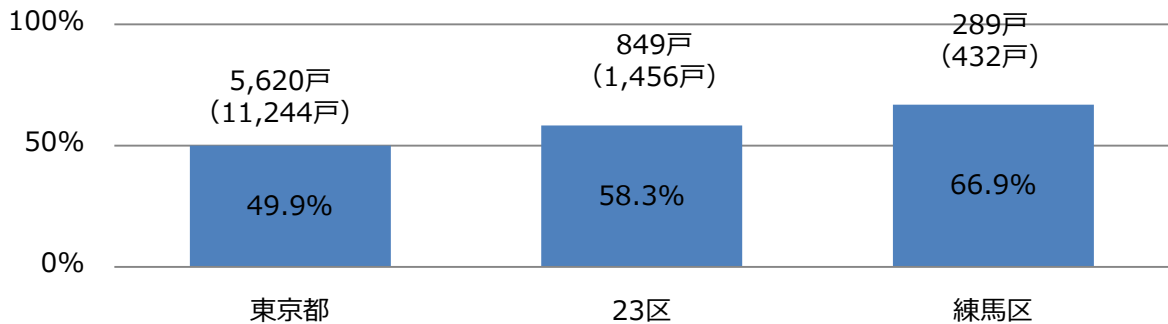


資料) 練馬区作成

特徴2. 練馬区の農業者は、販売農家の割合が高い

練馬区では、総農家数に占める販売農家の割合が66.9%と東京都や23区に比べて高い。

<総農家数に占める販売農家の割合>



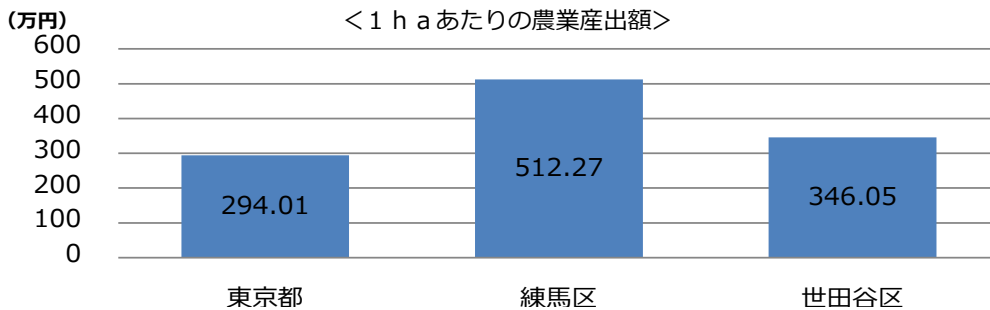
注釈) 括弧内は、総農家数

資料) 東京都農業会議「平成27年度東京都の地域・区市町村別農業データブック」

特徴3. 練馬区の農業者は面積当たりの収入が高い

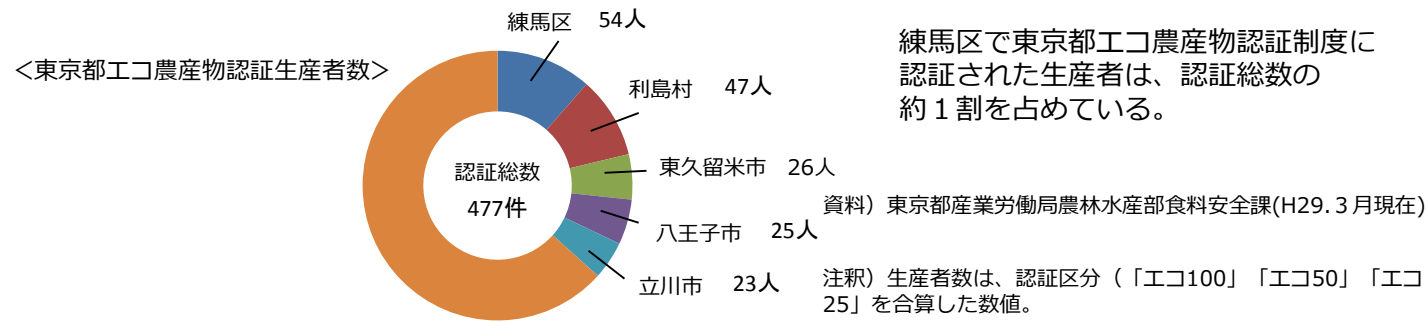
練馬区では、1 haあたりの農業産出額が約510万円と、東京都や近隣の世田谷区と比べても150~200万円ほど高く、付加価値の高い農産物の生産が行われていることがうかがえる。

<1 haあたりの農業産出額>



資料) 東京都農業会議「平成27年度東京都の地域・区市町村別農業データブック」

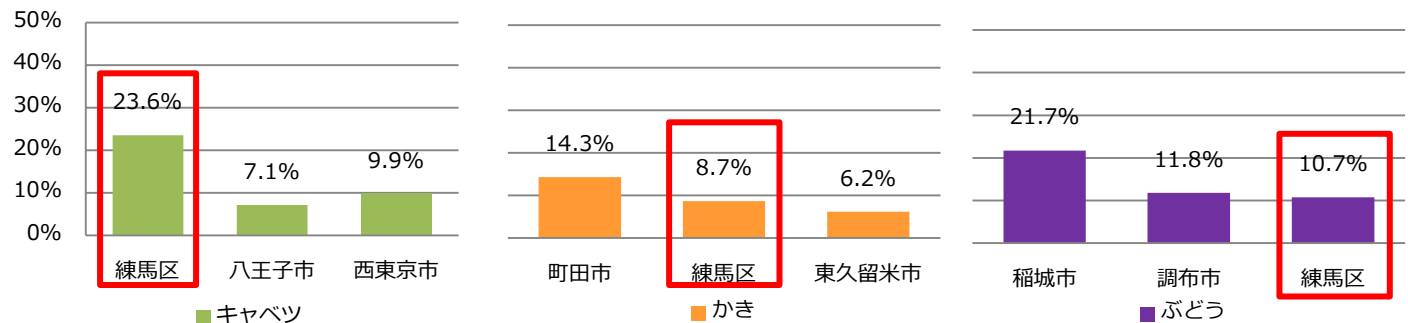
特徴 4. 東京都工コ農産物認証生産者の1割を占める練馬の農業者



特徴 5. キャベツの一大生産地、果樹の栽培が活発な練馬区

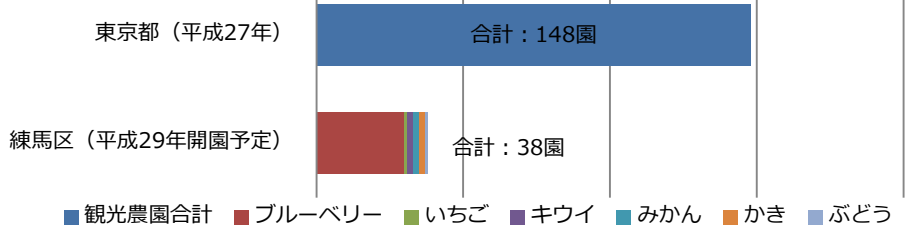
練馬区では、東京都におけるキャベツの一大生産地である。また、ぶどうやかき等の果樹類の生産も活発に行われている。果樹については、ブルーベリー農園をはじめとした観光農園を営む生産者も多く、東京都内の農園数の2割を占める。

<東京都の生産量に占めるキャベツ・ぶどう・かき生産自治体上位3市区の割合>



(園)

<東京都内と練馬区内の観光農園数>



注釈) 東京都の観光農園数は、観光農園を営む経営体数 資料) 練馬区提供資料、農林水産省「農林業センサス2015」

特徴 6. 体験農園発祥の地である練馬区は全国の体験農園数に占める割合が1割以上

体験農園発祥の地である練馬区では、全国に占める体験農園数の割合が1割以上、区画数では2割以上を占め、体験農園が活発な地域である。

<全国の体験農園数・区画数>

